

講義コード		科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	あじあけいざいろん	(フリガナ)	うめもとまさる
授業科目名	アジア経済論	担当教員名	梅本 克
英文授業科目名	Asian Economics		
基準年次(開講期)	3年(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	木4限/池袋		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	アジア経済、開発、地域統合		
授業概要・目的	本授業では、アジア政治経済を読み解くための基礎理論と現実動向を明らかにする。 アジア政治経済の基礎概念と基礎理論をより深く理解し、現実分析に活用できることを到達目標とする。		
到達度評価の評価項目	授業内容に沿った課題への取り組み姿勢と回答の内容にて到達度を確認する。		
第1回	オリエンテーション		
第2回	アジアの開発の現状と課題		
第3回	ASEAN の貿易の現状と課題		
第4回	途上国の経済統合と域内経済格差		
第5回	ODA と地域統合		
第6回	東アジアの FTA と生産ネットワーク		
第7回	ASEAN の地域統合と産業集積		
第8回	大メコン圏における輸送インフラ		
第9回	AIIB と中国の対外経済協力		
第10回	東アジアにおける通貨・金融協力		
第11回	リージョナルバンクへの可能性		
第12回	ASEAN 経済共同体と開発		
第13回	日中韓 FTA の可能性		
第14回	APEC の課題		
第15回	アジアの開発と地域統合		
教科書・参考書等	「アジアの開発と地域統合」 日本評論社 2015年		
授業で使用する機器等			
予習・復習へのアドバイス	授業への参加および予習・復習のため、テキストは必ず入手すること。		
履修上の注意・受講条件等	課題にはテキストでの自習が必要となる。		
成績評価の基準等	毎週配布する課題で評価する。課題は、授業内で配布される用紙を使用し、翌週の授業内で提出されたもののみ評価対象とする。8回以上の提出がない場合、「未履修」とする。課題は、評価基準に満たす場合のみ「合格」とし、8回以上提出しても「合格」した課題が8回以上ない場合は「不可」とする。		
メッセージ	授業の理解には、課題に取り組むことが必要になる。課題に独りで取り組むことは困難なため、友人との協働作業を勧める。		
オフィスアワー	月水金 13:30~14:30		
その他	参考書:「入門 地域統合の経済学」 日本評論社 2017年		

